

# 名古屋大学環境医学研究所・近未来環境シミュレーションセンターに

## おける技術支援について

○伊藤麻里子<sup>A) B)</sup>、森ララミ<sup>A) B)</sup>

<sup>A)</sup> 名古屋大学全学技術センター 部局系技術支援室

<sup>B)</sup> 名古屋大学環境医学研究所 近未来環境シミュレーションセンター

### 1. はじめに

名古屋大学環境医学研究所（以下環境医学研究所）は、平成18年4月に組織再編が行われ、新しい附属施設として近未来環境シミュレーションセンター（以下センター）が新設された。環境医学研究所内にある実験動物飼育施設や、南館1階の共通機器である組織切片作製の機器類および各種顕微鏡は、センターの管理下におかれている。現在、2名の技術職員がセンターに配属され、これらの設備および機器類の管理運営を含めた技術支援を行っている。今回の発表では、この2名の技術職員の環境医学研究所における技術支援を中心とした業務内容について紹介する。

### 2. 業務内容

現在環境医学研究所のセンター職員は、（1）実験動物飼育施設における研究支援、（2）共通機器類にかかわる研究支援を行っている。

#### （1）実験動物飼育施設における研究支援

- ・実験動物飼育施設の維持、管理
- ・実験動物の検収、検疫及び健康管理（写真1）
- ・各種遺伝子改変動物を用いた研究支援および系統維持
- ・施設利用者への実験動物の取扱いに関する教育
- ・他部局との共同研究支援
- ・動物実験計画書作成の指導補助
- ・動物実験実施者等講習会の実施支援

#### （2）共通機器類にかかわる研究支援

- ・組織標本作製技術の提供
- ・パラフィン切片および凍結切片作製の機器類の管理、操作教育
- ・電子顕微鏡、共焦点レーザー顕微鏡、その他各種顕微鏡の管理、操作教育（写真2）
- ・各種顕微鏡類の取扱い講習会の企画、実施



写真1. 実験動物の微生物モニタリング検査実施の様子



写真2. 共焦点レーザースキャン顕微鏡講習会の様子

### 3. 今後の課題

今後の課題として以下の技術の向上、資格の取得を目指しつつ日常の研究支援業務を行っている。

- ・ 微生物モニタリングの拡充および技術の向上
- ・ 遺伝子改変動物の繁殖・系統維持の技術の向上
- ・ 電子顕微鏡類の技術の向上
- ・ 1級実験動物技術者、実験動物専門医の資格の取得